



自立自尊 ～優しくて、温かくて、安心できる学校～

工夫して創り上げた体育祭

「自立自尊」は、長年本校に受け継がれている教育目標です。これに加え、生徒会の合言葉として「優しくて、温かくて、安心できる学校」を掲げています。

今年度は、さまざまな行事を通常通り行うことができません。体育祭においても、制約がある中、生徒と職員で力を合わせて知恵を出し合い、活動内容を見直し、工夫しました。

まず、これまでの赤白2団編成を赤黄青緑4団編成にしました。さらに、新たな学年種目を考え出しました。昨年度まで「応援」で創り上げてきた異学年交流および3年生のリーダーシップの向上は、団での種目練習や時間厳守・整理整頓など生徒会で決めた観点に基づいて各学級の達成度を得点化し、体育祭当日の得点に加算する生活得点への取り組みの中で充実させました。練習や取り組みの中で見つけた課題について、改善案を自分達で考え話し合い、高め合うことができました。

あと半年ほどの生活の中で、さらに「優しくて、温かくて、安心できる学校」づくりに向かいます。



目指せプロ野球選手

しばた そうすけ
泉西小学校6年 柴田蒼亮さん

泉野球スポーツ少年団のキャプテンとして活躍の泉小学校6年生の柴田蒼亮さん。ピッチャーとしてもチームを率い、今年8月の市内大会ではチームが見事優勝。9月には岐阜県学童軟式野球大会に出場し、初戦を突破しました。

兄が野球をやっていたことがきっかけで、小学1年生の時に入団。それ以来、土・日・祝日は午前9時～午後5時までの猛練習に毎回参加し、ピッチング・守備・バッティングの技術向上のため汗を流しました。5年生の夏には、火・水・木曜日にも午後5時～6時30分の練習もこなし、めきめきと実力が向上。その成果が実り、今では球速が最速110km/hまでアップ。バッティングでも、今年8月の市内大会で相手にリードを許していた最終回表、ランナー二人を置いての打席で見事逆転3ランホームランを放つなど勝負強さを見せました。

野球の魅力は、「みんなと助け合って協力すること。それで勝ると本当にうれしい」と笑みがこぼれました。高校では甲子園、そして夢は大きくプロ野球選手。これからも努力の日々が続きます。